

# 配管勾配測定器

## 従来の高い位置の配管勾配を測定する作業は？



課題

1. 不安定な場での作業ロス
2. 転倒リスク

従来の測定は、脚立を使用して配管部まで上がり、水準器を使用していました。そのため、測定場所の移動に脚立の昇り降りが必要となることから作業効率の低下や、脚立からの落下、転倒リスクが課題でした。

## “配管勾配測定器”なら安全に短時間で測定可能



新測定方法で改善

脚立いらすの簡単測定だから…

1. 一人で手軽に測定
2. 転倒リスクのない安全な測定
3. タブレット仕様にして、測定データ処理が更に早く正確に可能になりました。  
また、現場図面をタブレット画面で見れるので、大きな図面を持歩く必要がありません。



作業効率を向上させる特長

- 操作棒先端の傾斜計を配管に下から当てるだけです。傾斜計は自動で水平レベルを検知します。傾斜計とタブレットはBluetooth(Class2)で、送受信します。
- 施工図面をタブレット端末に入力。(CADデータなどをjpegに変換) 測定現場名、場所、日時、測定者名などの必要事項が入力できます。
- 該当箇所の図面を表示して測定し、画面をタッチすればデータが入力されます。
- データ入力を完了した時点で、自動的に測定データの帳票が作成されます。後で、異常データを無効にでき、再度測定が可能です。
- ソフトをインストールすれば、タブレット端末(Android Ver4.0以降)は、どの機種でもOKです。
- 測定データはタブレット端末から、他のパソコンへ送信でき、エクセルに取込めます。送信方法はWi-Fiです。

## 測定手順と仕様

### 測定手順

1. タブレット端末内部に配管図面(jpeg)を取込み、必要事項(測定現場名、場所、日時、測定者名など)を入力。パソコンでも入力して送信できます。
2. 配管勾配測定ポイントを設定(可否の判断基準が入られます)
3. 測定ポイントに沿って移動しながら測定
4. データ確認(異常データは無効にでき、再度測定が可能です)

### ● 傾斜計・仕様・分解能

測定高さ	床面から4m程度。下向きもアタッチメント交換で可能になりました。
分解能	0.0035°以下、(0.06mm/m以下)
測定単位	mm/m、角度(°)表示、分数表示(1/100、1/200など)

### ● 仕様

電源	傾斜計(単3電池3本、実測で、70時間程度連続使用可能)
通信方式	Bluetooth(Class2)
傾斜センサ	村田製作所SCA-100
タブレット	Bluetooth(Class2)対応、Android Ver4.0 以降

### ● 操作棒

主材質	アルミ
重量	0.6kg
機能	伸縮可能(2~3m)



タブレット端末



傾斜計